

戦 評

大会名 日本スポーツマスターズ2026石川大会
バレーボール競技 男子 岩県予選会

巖きたかみ 0 { 13-21
17-21 } 2 V a b o

試合時間 0 時間 52 分

主 審 小野寺 太

副 審 鈴木 美香子

戦 評

過去14年間県内王座に君臨し続ける巖きたかみに対し、幾度も苦杯をなめさせられながらも着実に地力をつけ、今年こそ雪辱を果たしたいVaboとの対戦となった決勝。

第1セット、Vaboは12番川村(卓)が相手ブロックを巧みに利用した頭脳的な攻撃と1番高橋のミドル攻撃を織り交ぜ、巖きたかみの守りを乱し序盤で大きくリードする。

巖きたかみも12番レフト泉を主体に反撃するものの単調な攻撃となり、Vaboは勢いを失わずこのセットを先取する。

第2セット、セット間を挟み落ち着きを取り戻した巖きたかみは、守りを安定させ12番泉がレフトからの力強いスパイクで先行する。追いかけるVaboも必死の守りで食らいつき点差を離されず、お互い終盤まで競り合う展開が続く。ここで踏ん張りったのがVabo。12番川村(卓)を中心に逆転すると、多彩な攻撃陣を誇る巖きたかみに本来の力を発揮させず、一気にこのセットも奪い15年ぶりの優勝を飾った。

戦評者 佐々木 一晃

岩手県クラブバレーボール連盟